

2016 年度 研究所事業報告書

研究所名	歴史都市防災研究所
研究所長名	大窪 健之

I. 研究成果の概要

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2016 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうできるだけわかりやすく記述してください。

文化遺産・歴史都市の保全活用と災害安全の両分野をつなぐ総合的な研究領域である文化遺産防災学を創発し、これに関する研究・教育・社会連携、さらには情報基盤の拠点形成を目標に据えた活動を、継続的に実施した。以下、具体的な成果について、活動項目毎に要約する。

- ① **歴史文化都市の時空間データ基盤研究部会:** 歴史文化都市の将来の災害リスクを明らかにし、災害時の対応や復興時の状況を歴史的背景とともに具体的に評価していくために、京都をはじめとする歴史都市を対象にした、時空間的なデータ基盤を構築し、歴史文化都市ならびに文化遺産の災害リスクや空間の質に関する地理空間分析とこれをふまえた評価ツールを開発する。
- ② **歴史文化都市の防災技術研究部会:** 「歴史・文化・意匠的価値」と「防災性能」を兼ね備えた歴史文化都市・地域の防災技術を確立することを目的に、歴史文化都市空間の歴史的・文化的価値を保全する防災技術を向上させるとともに、(1) 伝統構法木造建築物の構造力学特性の解明、(2) 歴史的建造物の耐震補強・改修技術の開発、(3) 歴史文化都市の防火システムと機器の開発、(4) 歴史文化地域の地盤環境を踏まえた防災技術の開発に関する研究を他の研究部会とも連携して行った。
- ③ **歴史文化都市の防災デザイン研究部会:** 「歴史・文化・意匠的価値」と「防災性能」を兼ね備えた歴史文化都市の防災技術を確立すること目的に、伝統的な知恵と地域の歴史・文化を生かした耐震設計・改修技術や防耐火システム・機器の開発、歴史文化地域の地盤環境およびハザード評価を踏まえた防災対策の提案を行う。
- ④ **国際展開・社会連携 研究支援プログラム:** 第 11 回となる UNESCO Chair 国際研修では、150 名の応募者より研修者 15 名を選出し実施した。10 周年を記念し「トヨタ財団イニシアティブプログラム活動報告会」として国際シンポジウムをおこない、過年度研修修了者を招き自国での研修成果を共有した。さらにフォローアップ事業として、2015 年度はじめに発生したゴルカ地震の被災地であるネパール・カトマンズにおいて、地域研修実施の際のサポートを行った。他に、第 13 回立命館大学・タマサート大学共同ワークショップ等の国際連携の事業を実施した。市民組織「明日の京都～文化遺産プラットフォーム」との連携を推進し、平安遷都 1200 年を記念し、「羅生門」復元模型を京都駅前広場に移設展示するプロジェクトに技術支援を行った。
- ⑤ **研究所のその他主催事業等:** 2016 年 4 月に起こった最大震度 7 を記録する熊本地震を受け、研究所を挙げて緊急現地調査を行い、熊本城等現地の被害状況を調査した。調査内容をもとに分析・研究を行い、その結果は定例研究会や 2017 年度研究所シンポジウムで論文発表を行った。

年次事業「第 10 回・歴史都市防災シンポジウム」(7/9)を開催し、28 件の研究発表と活発な討議が行われ、国内外から約 100 人の参加があった。「立命館土曜講座」では「歴史都市の災害と防災」をテーマにシリーズで市民向け講義を提供した。定例研究会も、年度内に 7 回開催し、各研究部会の若手研究者から成果報告がなされ活発な研究交流を行なった。他にも学術論文集「歴史都市防災論文集 Vol.10」や「京都歴史災害研究 第 18 号」を刊行した。「第 10 回地域の安全安心マップコンテスト」では 72 作品(169 名)の応募があり、幅広い地域からの作品が寄せられた。さらに、学外視察として研究所の研究対象フィールドである与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区(ちりめん街道)や伝統的建築工法によりつくられた兵庫県豊岡市皇(スメラギ)三重の塔を研究メンバー 26 名で訪問、見学、現地での意見交換を行うことで研究部会の枠を超えて、研究成果の共有と研究交流を行った。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2017年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長	大窪 健之	理工学部 都市システム工学科	教授
運営委員	鈴木 祥之	衣笠総合研究機構	教授
	中谷 友樹	文学部地域研究学域	教授
	青柳 憲昌	理工学部建築都市デザイン学科	講師
	小川 圭一	理工学部都市システム工学科	准教授
	鐘ヶ江 秀彦	政策科学部政策科学科	教授
	金 度源	衣笠総合研究機構	准教授
	土岐 憲三	衣笠総合研究機構	教授
	豊田 祐輔	政策科学部政策科学科	准教授
	花岡 和聖	文学部地域研究学域	准教授
	深川 良一	理工学部都市システム工学科	教授
	宗本 晋作	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	矢野 桂司	文学部地域研究学域	教授
	河角 直美	文学部地域研究学域	准教授
	吉越 昭久	文学部地域研究学域	特任教授
吉富 信太	理工学部建築都市デザイン学科	教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	泉 知論	理工学部電気電子工学科	教授
	伊津野 和行	理工学部都市システム工学科	教授
	板谷 直子	衣笠総合研究機構	准教授
	片平 博文	文学部地域研究学域	特任教授
	川合 誠	情報理工学部 情報コミュニケーション学科	特任教授
	川崎 佑磨	理工学部都市システム工学科	准教授
	里深 好文	理工学部都市システム工学科	教授
	高橋 学	文学部地域研究学域	教授
	武田 史朗	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	塚口 博司	理工学部都市システム工学科	特任教授
	林 倫子	理工学部都市システム工学科	助教
	平尾 和洋	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	福水 洋平	理工学部電気電子工学科	准教授
	藤本 将光	理工学部都市システム工学科	助教
	松永 光平	文学部地域研究学域	准教授
	ロヒト・ジグヤス	衣笠総合研究機構	教授
	冷泉 為人	衣笠総合研究機構	教授
	山内 寛紀	理工学部電気電子工学科	特任教授
山崎 有恒	文学部地域研究学域	教授	

専門研究員・研究員	崔 明姫	衣笠総合研究機構	専門研究員
	谷端 郷	衣笠総合研究機構	専門研究員
	石田 優子	総合科学技術研究機構	専門研究員
	尾崎 正志	衣笠総合研究機構	研究員
補助研究員・リサーチアシスタント	大矢 綾香	理工学研究科	博士課程後期課程 2 回生
学振特別研究員 (PD・RPD)	上杉 昌也	日本学術振興会	特別研究員 (PD)
博士後期課程院生・一貫制博士課程 3 回生以上在籍院生	酒井 宏平	政策科学研究科	博士課程後期課程 3 回生
	谷崎 友紀	文学研究科	博士課程後期課程 3 回生
	郭 凱泓	文学研究科	博士課程後期課程 3 回生
	本多 彩夏	政策科学研究科	博士課程後期課程 2 回生
	佐藤 弘隆	文学研究科	博士課程後期課程 2 回生
	常木 佳奈	文学研究科	博士課程後期課程 1 回生
	前田 一馬	文学研究科	博士課程後期課程 1 回生
	大和田 智彦	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	杉山 貴教	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	田中 宏樹	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	吉田 篤司	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	吉田 恭祐	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	清水 泰有	政策科学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	有光 悠紀	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	飯田 悟	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	飯田 哲也	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	大和田 和大	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	木林 幹	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	角 宏一	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	董 大超	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	杉森 大起	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	川村 真弘	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	小泉 宏基	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	神谷 領	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	棚橋 弘貴	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	岩見 亜弥	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	雪谷 亮太	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	上坂 僚	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
高杉 三四郎	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生	

		濱村 正浩	理工学研究科	博士課程前期課程 1回生
		中橋 明久	理工学研究科	博士課程前期課程 1回生
		野中慎介	理工学研究科	博士課程前期課程 1回生
		白 波	理工学研究科	博士課程前期課程 1回生
		山戸 貴嗣	理工学研究科	博士課程前期課程 1回生
		小池 潤	理工学研究科	博士課程前期課程 1回生
		小林 和敬	理工学研究科	博士課程前期課程 1回生
		佐藤 峻亮	理工学研究科	博士課程前期課程 1回生
		石川 一平	理工学研究科	博士課程前期課程 1回生
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等)		白石 陽子	衣笠総合研究機構	補助研究員
客員協力研究員		高松 正彦	一般財団法人日本緑化センタ ー 緑化事業部	次長
		田中 哮義	京都大学	名誉教授
		森 清頭	清水寺	執事補
		高橋 暁	ユネスコ太平洋州事務所	文化担当官
		福島 信夫	株式会社中藏	特別顧問
		福山 大典	株式会社アイエス工業所	
		樋本 圭佑	国土交通省国土技術政策 総合研究所	主任研究員
		岡田 篤正	日本活断層学会	会長
		川崎 一郎	富山県立大学	客員教授
		北原 糸子	衣笠総合研究機構	客員研究員
		川道 美枝子	関西野生生物研究所	代表
		諏訪 浩	大谷大学 文学部	非常勤講師
		水田 哲生	公益財団法人大学コンソーシア ム京都 シンクタンク事業	プロジェクト・マネージャー
		和泉 潤	名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部	特任教授
		城月 雅大	名古屋外国語大学現代国際学 部	准教授
		大槻 知史	高知大学総合科学系 地域協働教育学部門	准教授
		石橋 健一	名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部	教授
		梶 秀樹	筑波大学	名誉教授
		神田 隆男	丸軒企業有限公司	京都支店長
	山崎 文雄	千葉大学大学院工学研究科	教授	

	Chaweewan DENPAIBOON	タマサート大学建築学部	准教授
	高橋 彰	公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター	職員
	桐村 喬	皇学館大学文学部	助教
	高木 良枝	京都市指定文化財長江家住宅袋屋 京都市指定有形文化財駒井家住宅	顧問 チーフマネージャー
	矢尾田 清幸	おきなわ県土地改良事業団体連合会 多面的機能保全推進協議会	班長
	青木 和人	あおき地理情報システム研究所	代表
	埴淵 知哉	中京大学国際教養学部	准教授
	棚橋 秀光	TASS デザイン研究室	
	Lata SHAKYA	独立行政法人日本学術振興会	外国人特別研究員
	佐藤 英佑	株式会社佐藤木材	取締役
	森下 雄治	森下漆器株式会社	代表取締役
	古川 愛子	京都大学大学院 地球環境学 堂	准教授
	金 玖淑	日本ミクニヤ株式会社	
	益田 兼房	衣笠総合研究機構	上席研究員
	村中 亮夫	北海学園大学 人文学部	准教授
	Paola RIZZI	サッサリ大学 建築学部	教授
	大岡 優	独立行政法人 国立高等専門学校機構 都城工業高等専門学校	講師
	丸岡 稔典	名古屋産業大学現代ビジネス 学部	特任講師
	米島 万有子	熊本大学文学部	准教授
	植村 善博	佛教大学	教授
	高橋 春成	奈良大学文学部	教授
	村上 晴澄	京都市都市計画局まち再生・創 造推進室	職員
	Bungkwan KIM	ソウル特別市文化体育観光部 博物館政策課	
	江口 里奈	公益財団法人京都市景観 ・まちづくりセンター	
	Alessandra GANDINI	文化財建造物研究機関	
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	須田 達	金沢工業大学 環境・建築学部 建築学科	講師
	田中 克彦	総合科学技術研究機構	上席研究員

	向坊 恭介	鳥取大学大学院工学研究科	助教
	Joseph Allan KING	ICCROM	Director of Site Unit
	Giovanni BOCCARDI	Emergency preparedness and response Unit (CLT/EPR), Culture Sector, UNESCO	Chief
	天野 丞可	帝塚山大学心理科学研究科 心理科学専攻臨床心理学専修	博士課程前期課程 1 回生
研究所・センター構成員 計 140 名 (うち学内の若手研究者 計 44 名)			

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2017年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	青柳 憲昌	『日本の建築意匠』	共著	2016年12月	学芸出版	編著：平尾和洋・青柳憲昌・山本直彦	
2	川崎 佑磨	Innovative AE and NDT Techniques for On-Site Measurement of Concrete and Masonry Structures	共著	2016年6月	Springer	Yuma Kawasaki, Yuichi Tomoda and Masayasu Ohtsu	133-156
3	鐘ヶ江 秀彦	Simulation and Gaming in the Network Society, Kaneda Toshiyuki, Kanegae Hidehiko, Toyoda Yusuke and Rizzi Paola (Editors)	共編著	2016年8月	Springer, Translational Systems Sciences	Kaneda Toshiyuki, Kanegae Hidehiko, Toyoda Yusuke and Rizzi Paola (Editors)	Whole (1-474), 全編
4	鐘ヶ江 秀彦	"A Simulation of Economic Loss Impact and Recovery: A Case Study of Shima City Assuming Nankai Trough Earthquake", Simulation and Gaming in the Network Society	共編著	2016年8月	Springer	Mingji Cui, Hitoshi Taniguchi, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae (Authors) Kaneda Toshiyuki, Kanegae Hidehiko, Toyoda Yusuke and Rizzi Paola (Editors)	339-353
5	武田 史朗	自然と対話する都市へーオランダの河川改修に学ぶー	単著	2016年4月	昭和堂		
6	塚口博司	交通システム (第2版)	共著	2016年4月	オーム社	塚口博司・塚本直幸・日野泰雄・内田敬・小川圭一・波床正敏	
7	塚口博司	Estimation of Passenger Flow for Planning and Management of Railway Stations	共著	2016年	WCTR, Shanghai	YoonghoAhn, TomoyaKowada, Hiroshi Tsukaguchi, UpaliVandebona	
8	豊田 祐輔	Simulation and Gaming in the Network Society	共編著	2016年8月	Springer Science Business Media	Kaneda Toshiyuki, Kanegae Hidehiko, Toyoda Yusuke and Rizzi Paola (Edi.)	
9	平尾 和洋	日本の建築意匠	共編	2016年12月	学芸出版社	平尾和洋, 青柳憲昌, 山本直彦	

10	深川 良一	自然災害資料集(全7巻)	単著	2016年4月	クレス出版	深川良一編・解説	
11	矢野 桂司	市民参加型 GIS による祭礼景観の復原—昭和30年以前の京都祇園祭の山鉾行事における松原通一	共著	2017年3月	若林芳樹編『参加型 GIS の理論・技術・応用』、古今書院	矢野桂司・佐藤弘隆・河角直美	
12	矢野 桂司	ジオデザインにおける市民参加の可能性	単著	2017年3月	若林芳樹編『参加型 GIS の理論・技術・応用』、古今書院	矢野桂司	
13	吉越 昭久	土地利用でみるアジアの都市化と自然環境	分担執筆	2016年3月	筑波大学出版会	山下亜紀郎編著	11-18,111-131
14	崔明姫	ピクトグラムの認識に関する調査とベイズの定理を用いた正しい避難に有用なワードの分析	共著	2016年7月	『歴史都市防災論文集』Vol. 10	石田優子、崔明姫、酒井宏平、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦、深川良一	167-174
15	崔明姫	A Simulation of Economic Loss Impact and Recovery: A Case Study of Shima City Assuming Nankai Trough Earthquake	共著	2016年8月	Springer Science Business Media	Mingji Cui, Hitoshi Taniguchi, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae (Authors) Kaneda Toshiyuki, Kanegae Hidehiko, Toyoda Yusuke and Rizzi Paola (Editors)	339-353

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	青柳 憲昌	鉄筋コンクリート造による平安王朝美の再現—吉田五十八の五島美術館にみる“平安調”の建築意匠	単著	2016年2月	『LIXIL eye』第10号	青柳憲昌	22-23	無
2	青柳 憲昌	朽木谷河川流域茅葺民家の現状調査と諸特性分析 その2 —防火意匠の現状調査と今後の対策—	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系	遠藤直久・酒井理恵・平尾和洋・青柳憲昌・小西佐枝	273-276	無
3	青柳 憲昌	朽木谷河川流域茅葺民家の現状調査と諸特性分析 その1 —主屋規模の定量分析と妻入・平入分布域に関する考察—	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系	杉森大起・酒井理恵・遠藤直久・平尾和洋・青柳憲昌・小西佐枝	269-272	無
4	青柳 憲昌	江戸時代末期から明治・大正時代にかけての高山町家の平面形式の変化	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系	山路ゆり・青柳憲昌・小西佐枝・平尾和洋	649-652	無
5	青柳 憲昌	高山における町家(商家)の近代化の一側面 —鍋島家住宅・長瀬家住宅の建築史調査報告	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系	青柳憲昌・山路ゆり・平尾和洋	645-648	無
6	青柳 憲昌	三大神社本殿の建設年と意匠的特徴	共著	2016年8月	日本建築学会大会学術講演集梗概集	小西佐枝・青柳憲昌	581-582	無
7	泉 知論	Recognition of Oracular Bone Inscriptions Using Template Matching	共著	2016年2月	Int. J. of Computer Theory and Engineering (8巻1号)	Lin Meng, Yoshiyuki Fujikawa, Atsushi Ochiai, Tomonori Izumi, Katsuhiko Yamazaki	53-57	有
8	大窪 健之	Traditional Wisdom for Disaster Mitigation in History of Japanese Architectures and	単著	2016年5月	Journal of Cultural Heritage	Takeyuki Okubo		有

		Historic Cities						
9	大窪健之	歴史的な町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究～神戸市北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	金度源, 大窪健之, 林倫子, 塩田一貴	129-136	有
10	大窪健之	防災活動への合意形成を目指した住民ワークショップ手法に関する研究～京都府与謝野町加悦重伝建地区を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	宮田雄大, 大窪健之, 金度源, 林倫子	137-144	有
11	大窪健之	阪神・淡路大震災における社寺の延焼抑止要因と避難地利用に関する調査研究～兵庫県神戸市の社寺を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	国島岳大, 大窪健之, 金度源, 林倫子	153-160	有
12	大窪健之	効率的なノズル開発に向けた散水挙動の理論的考察～延焼火災から歴史的な木造密集市街地を守る街路壁面散水設備(WSS)の開発～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	栗原拓大, 大窪健之, 金度源, 林倫子	91-98	有
13	大窪健之	災害情報を即時共有する地域防災情報システムの機能拡張と地域特性に着目した配信方法の検討～与謝野町加悦重伝建地区を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	大窪健之, 岩井渉, 金度源, 林倫子	179-186	有
14	大窪健之	2015年ゴルカ地震における伝統的中庭空間の避難時の利用実態－世界遺産カトマンズ・パタン地区を対象に－		2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	高杉三四郎, 大窪健之, サキヤラタ, 金度源, 林倫子	195-202	有
15	大窪健之	Proposal on utilization of historic water resources and open spaces in Rome for disaster risk management with lessons learned from Nepal Gorkha earthquake	単著	2016年10月	International Conference “Florence 1966-2016” Resilience of Art Cities to Natural Catastrophes: The Role of Academies, (Online Publishing), Accademia Nazionale Dei Lincei (Rome, Italy)	Takeyuki Okubo		有
16	大窪健之	Research on Temporal Shelters Using Cultural Heritage Sites such as Local Temples and Shrines in the case of The Great East Japan Earthquake	共著	2016年10月	ICOMOS International Scientific Symposium “Post-Disaster Reconstruction” (Istanbul, Turkey), (Online Publishing)	Takeyuki Okubo, Michiko Hayashi and Dowon Kim		有
17	岡井有佳	歩行環境向上のための方策に関する一考察: 富山県黒部市宇奈月温泉を事例として	共著	2016年6月	地域生活学研究(7巻)	岡井有佳・鈴木浩太郎・折本大輝・板谷和也	21-29	有
18	岡井有佳	京都市中心部における細街路に接する敷地後退部分の利用実態	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	折本大輝・岡井有佳・小池貴大・吉田隼斗	123-128	有
19	岡井有佳	世界遺産のバッファゾーンにおける景観整備に関する研究 京都市西芳寺を事例として	共著	2016年8月	2016年度大会学術講演梗概集(都市計画)	川道大輔・山崎正史・岡井有佳	991-992	無
20	岡井有佳	京町家の保全・再生に向けた取り組みの効果と課題～京町家まちづくりフェア	共著	2016年8月	2016年度大会学術講演梗概集(都市計画)	斎藤満里奈・岡井有佳	843-844	無

		ンドを事例として						
21	小川圭一	歴史都市における指定避難所を経由した広域避難場所への効果的な避難経路に関する研究	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 Vol.10	小川圭一、藤井勇希、塚口博司、安隆浩	161-166	有
22	片平博文	平安京周辺の条里と地名ー広隆寺付近の葛野郡条里を事例としてー		2016年12月	糸井通浩・綱本逸雄編『地名が語る京都の歴史』、東京堂出版、所収	片平博文	44-62	有
23	片平博文	12～13世紀における平安京北辺の風景とその変化ー西洞院川と小川(こかわ)との関係ー		2017年1月	立命館文学649	片平博文	113-133	有
24	川崎佑磨	大規模災害時における敦賀市周辺の広域避難シミュレーション	共著	2016年5月	材料学会信頼性工学特集号(65巻5号)	福田健太・野村泰稔・川崎佑磨・伊津野和行	391-396	有
25	川崎佑磨	RI法を援用したポーラスコンクリートの空隙率算定方法の提案	共著	2016年7月	コンクリート工学年次論文集(38巻1号)	安部良介、中新弥、川崎佑磨、岡本享久	1731-1736	有
26	川崎佑磨	乾湿繰返しを受けるポーラスコンクリートの化学的分析に基づく基礎的研究	共著	2016年7月	コンクリート工学年次論文集(38巻1号)	川崎佑磨、新大軌、吉田貴保、岡本享久	1737-1742	有
27	河角直美	市民参加型GISによる祭礼景観の復原ー参加型GISの理論と応用	共著	2017年3月	若林芳樹・今井修・瀬戸寿一・西村雄一郎編著『みんなで作り・使う地理空間情報』、古今書院	矢野桂司・佐藤弘隆・河角直美	PP. 118～124	無
28	河角直美	明治中期における京都旅行ー与謝野晶子の記録からー	単著	2017年3月	立命館人文学会、立命館文学、650号		PP. 77～78	無
29	河角直美	近代京都の景観と金閣寺	単著	2017年1月	立命館大学言語文化研究所、立命館言語文化研究、28巻3号		PP. 41～48	無
30	河角直美	近代期における大津の水辺空間の変遷と観光開発	共著	2016年	立命館文学(645号)	赤石(河角)直美・河角龍典	246-235	無
31	金度源	歴史的な町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究-神戸市北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区を対象として-	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	金度源・大窪健之・林倫子・塩田一貴	129-136	有
32	金度源	Revitalization and Community Engagement: Otsu, Japan	単著	2016年10月	DRONAH Journal of the Development and Research Organisation for Nature, Arts and Heritage, Context Volume XII 2016, a Special Issue on 'Asia and Urban Heritage'	Dowon KIM	51-56	有
33	金度源	効率的なノズル開発に向けた散水挙動の理論的考察: 延焼火災から歴史的な木造密集市街地を守る街路壁面散水設備(WSS)の開発	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	栗原拓大・大窪健之・金度源・林倫子	91-98	有
34	金度源	2015年ゴルカ地震における伝統的中庭空間の避難時の利用実態-世界遺産カトマンズ・パタン地区を対象に-	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	高杉三四郎・大窪健之・サキヤラタ・金度源・林倫子	195-202	有
35	金度源	阪神・淡路大震災における社寺の延焼抑止要因と避難地利用に関する調査研究-兵庫県神戸市の社寺を対象として-	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	国島岳大・大窪健之・金度源・林倫子	153-160	有

36	金 度 源	防災活動への合意形成を 目指した住民ワークショ ップ手法に関する研究： 京都府与謝野町加悦重伝 建地区を対象として	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10 巻)	宮田雄大・大窪健 之・金度源・林倫 子	137-144	有
37	金 度 源	歴史的な町並み保存のため の建築規制緩和に対する 災害対策の研究-神戸市 北野町山本通重要伝統的 建造物群保存地区を対象 として-	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10 巻)	金度源・大窪健之・ 林倫子・塩田一貴	129-136	有
38	金 度 源	災害情報を即時共有する 地域防災情報システムの 機能拡張と地域特性に着 目した配信方法の検討： 与謝野町加悦重伝建地区 を対象として	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10 巻)	大窪健之・岩井渉・ 金度源・林倫子	179-186	有
39	金 度 源	Research on Temporary Shelters Using Cultural Heritage Sites Such as Local Temples and Shrines, Focusing on the Case of the Great East Japan Earthquake	共著	2016年10月	ICOMOS International Scientific Symposium Post-Disaster Reconstruction	Takeyuki OKUBO・ Michiko HAYASHI・ Dowon KIM		有
40	里 深 好 文	大規模崩壊地を有する溪 流における豪雨時の土砂 流出と河床変動の実態— 富士川水系早川の春木川 を例に—	共著	2016年1月	砂防学会誌 (68巻5号)	丹羽諭・内田太郎・ 蒲原潤一・守谷武 史・光永健男・ 里深好文	21-31	有
41	里 深 好 文	Case study of debris flow disaster scenario caused by torrential rain on Kiyomizu-dera, Kyoto, Japan-using Hyper KANAKO system	共著	2016年2月	Journal of Mountain Science(13巻2号)	K. NAKATANI, S. Hayami, Y. SATOFUKA & T. MIZUYAMA	193-202	有
42	里 深 好 文	橋脚における木除杭及び 芥留杭の機能に関する基 礎的な実験	共著	2016年3月	土木学会論文集 B1 (水工 学) (72巻4号)	原田紹臣・内藤秀 弥・ 里深好文・水山高 久・ 小杉賢一朗	I_301-I_306	有
43	里 深 好 文	道路盛土横断排水構造物 の高機能化に関する研究	共著	2016年3月	土木学会論文集 B1 (水工 学) (72巻4号)	原田紹臣・内藤秀 弥・ 里深好文・水山高 久・ 小杉賢一朗	I_871-I_876	有
44	里 深 好 文	粒径と流入流量が天然ダ ムの決壊過程と流出流量 に及ぼす影響についての 実験的研究	共著	2016年3月	砂防学会誌 (68巻6号)	赤澤史顕・里深好 文	42-46	有
45	里 深 好 文	天然ダムの形成条件や河 道条件が決壊規模に及ぼ す影響	共著	2016年3月	砂防学会誌 (68巻6号)	中谷加奈・長谷川 祐治・ 里深好文・水山高 久	24-30	有
46	里 深 好 文	天然ダムの堆積高及び堆 積長に関する簡易的な予 測手法とその適用性	共著	2016年3月	砂防学会誌 (68巻6号)	原田紹臣・小杉賢 一朗・ 里深好文・水山高 久	47-50	有
47	里 深 好 文	Debris Flow Simulation by Applying the Hyper KANAKO System for Water and Sediment Runoff from Overtopping Erosion of a Landslide Dam	共著	2016年6月	International Journal of Erosion Control Engineering(9巻2号)	Go YANAGISAKI, Masashi AONO, Hironori TAKENAKA, Masayuki TAMAMURA, Kana	43-57	有

						NAKATANI, Eiji IWANAMI, Shigeo HORIUCHI, Yoshifumi SATOFUKA, Takahisa MIZUYAMA		
48	里深好文	清水寺周辺溪流における土石流氾濫解析	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(第10巻)	縄手洋介・梶山敦司・藤本将光・里深好文	59-66	有
49	里深好文	京都市東山地域における斜面崩壊の潜在的危険度評価	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(第10巻)	藤本将光・戸田堅一郎・有光悠紀・里深好文・深川良一	55-58	有
50	里深好文	橋梁における歴史的な流木対策に関する研究	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(第10巻)	原田紹臣・里深好文	115-122	有
51	里深好文	京都府亀岡市千歳町を対象とした土石流による影響範囲とソフト対策の検討	共著	2016年9月	自然災害科学(35巻特別号)	中谷加奈・天羽勝巳・藤本祥之・里深好文・藤田正治	65-77	有
52	鈴木祥之	柱の曲げを考慮した有開口土塗り壁の荷重-変形曲線推定に関する研究-礎石建て構法の土塗り壁に対する水平加力実験の結果とその推定-	共著	2016年6月	日本建築学会技術報告集(51号)	河原大、後藤正美、青木謙治、稲山正弘、鈴木祥之	505-510	有
53	鈴木祥之	伝統的構法通し貫仕口のめり込みの繰り返し復元力特性	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(Vol.10号)	棚橋秀光、大岡優、白井悠吾、岩本いづみ、鈴木祥之	15-22	有
54	鈴木祥之	かしも明治座における板壁の水平抵抗メカニズムに関する研究	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(Vol.10号)	須田達、鈴木祥之	23-30	有
55	鈴木祥之	階段を利用した伝統木造二重門の制震補強	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(Vol.10号)	向坊恭介、鈴木祥之	31-38	有
56	鈴木祥之	Structural mechanisms and deformability of major types of traditional timber joints in Japan	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Hideaki Tanahashi and Yoshiyuki Suzuki		有
57	鈴木祥之	Influence of penetrating tie beams visible from the front of wall on restoring force characteristics of mud-walls	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Hiroyuki Nakaji, Yoshiyuki Suzuki		有
58	鈴木祥之	Experimental study on the seismic behavior of wide-board walls in existing traditional wooden structures	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Atsuo Takino, Yoshiyuki Suzuki		有
59	鈴木祥之	Earthquake response analysis of traditional timber gate of Higashihonganji temple based on 3D analytical model	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Shinta Yoshitomi, Kyosuke Mukaibo, Hideaki Tanahashi, Yoshiyuki Suzuki		有
60	鈴木祥之	Seismic reinforcement for traditional timber gate utilizing external stairs	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Kyosuke Mukaibo, Hideaki Tanahashi, Shinta Yoshitomi, and Yoshiyuki		有

						Suzuki		
61	鈴木祥之	Development and application of seismic reinforcement design method for traditional wooden houses in heavy-snow regions by taking advantage of structural features	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Eisuke Sato, Kyosuke Mukaibo and Yoshiyuki Suzuki		有
62	鈴木祥之	Experimental study on lateral-load resistance mechanism of diagonal-crisscross reinforced lattice	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Tatsuru Suda, Yusuke Nakamura, Hideaki Tanahashi and Yoshiyuki Suzuki		有
63	鈴木祥之	Characteristics of biodegradation found in roof structure of wooden historical buildings	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Yuko Fujiwara, Yoshihisa Fujii, Kyosuke Mukaibo and Yoshiyuki Suzuki		有
64	高橋学	環境史からみた災害	単著	2016年1月	都市問題 (107巻)	高橋学	1	
65	高橋学	シンポジウム「災害考古学の可能性を探る」の記録	共同	2016年	兵庫県立博物館研究紀要(9巻)	高橋学・森永速男・山下史朗・甲斐昭光・多賀茂治(査読なし)	18-33	
66	高橋学	人はどこで死ぬか-災害発生メカニズムから-	単著	2016年	兵庫県立博物館研究紀要(9巻)	高橋学	1-17	
67	高橋学	熊本地震は南海地震の前兆かもしれない	単著	2016年	現代ビジネス電子版	高橋学	1-2	
68	高橋学	熊本地震の次は南海トラフだ	単著	2016年	サンケイデジタル、電子版	高橋学	1-3	
69	高橋学	環境史からみた信長の時代I-桶狭間の戦い-	単著	2016年	立命館文学(645巻)	高橋学	164-189	
70	高橋学	Earthquake, Tsunami and Flood Disasters in Prehistoric and Historic Eras	単著	2016年	国際考古学会議プロシーディングス(8巻)	TAKAHASHI Manabu	1-8	
71	高橋学	「都市型震災」と「村おこし型震災」の発生メカニズム	単著	2017年	立命館文学 (649巻)	高橋学	162-177	
72	高橋学	環太平洋地域における地震・火山噴火とその災害	単著	2017年	立命館文学 (650巻)	高橋学	1-20	
73	高橋学	巨大地震・大地震は突然に起きない	単著	2017年	環太平洋文明研究 (1巻)	高橋学	1-10	
74	武田史朗	道路連結性に基づく都市の歩行環境の分析手法の提案と京都を対象としたケーススタディ	共著	2016年11月	ランドスケープ研究(オンライン論文集) (9巻)	山口純・武田史朗	115-125	有
75	花岡和聖	小地域人口マイクロデータの推計手法に関する検討 : Iterative Proportional Updating と	単著	2017年3月	立命館文学(650巻)	花岡和聖	410-421	無

		焼きなまし法の比較						
76	花岡和聖	公然わいせつに関連する犯罪発生場所の時間的・地理的特徴：地理情報システムを活用した空間分析	単著	2017年1月	立命館文學(649巻)	花岡和聖	197-205	無
77	花岡和聖	全国版の小地域マイクロデータの構築と災害分析への活用—国勢調査・匿名データの活用—	単著	2016年11月	地域安全学会論文集(29巻)	花岡和聖	247-255	有
78	花岡和聖	2013年台風ヨランダによる建物被害評価—フィリピン・サマール島バセイを対象として—	共著	2016年7月	日本建築学会計画系論文集(81巻725号)	村尾修・薄田拓磨・杉安和也・花岡和聖	1541-1548	有
79	花岡和聖	東日本大震災からの復興まちづくりと地理情報システム—ジオデザイン—の紹介—	共著	2016年3月	情報処理(57巻3号)	花岡和聖・磯田弦・杉安和也	203-233	無
80	花岡和聖	Grasp of Disaster Situation and Support Need inside Affected Area with Social Sensing: An Analysis of Twitter Data before and after the 2011 Great East Japan Earthquake Disaster Occurring	共著	2016年3月	Journal of Disaster Research(11巻2号)	Sato, S., Hanaoka, K., Okumura, M. and Koshimura, S.	198-206	有
81	塚口博司	大規模歴史公園における歩行者サインシステムの改善による観光客の行動変化に関する研究	単著	2016年10月	日本都市計画学会 都市計画論文集 Vol.51 No.2	塚口博司	174-183	有
82	塚口博司	奈良公園における観光客の迷い行動に関する分析	共著	2016年	土木計画学研究・講演集, Vol.53	呉海姿, 宮本聖, 安隆浩, 塚口博司	2243-2249	有
83	塚口博司	四条通歩道拡幅事業—人と公共交通優先の歩いて楽しいまちづくり—	共著	2016年	土木計画学研究・講演集, Vol.54	森藤淳・佐伯康介・塚口博司・山田志志	1580-1585	有
84	豊田祐輔	ピクトグラムの認識に関する調査とベイズの定理を用いた正しい避難に有用なワードの分析	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10号)	石田優子, 崔明姫, 酒井宏平, 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦, 深川良一	167-174	有
85	豊田祐輔	Gaming Simulation with Action Learning for Community-based Disaster Reduction Training	単著	2016年	Action Learning Action Research Journal(22巻1号)	Toyoda Yusuke	162-183	有
86	豊田祐輔	Emergency Preparedness in	共著	2017年3月	“ Journal of Regional Information and Development (Bulletin of	Suvannavong Thanyarat, Denpaiboon	80-92	無

		Shopping Arcade Areas for Disaster in Ibaraki City			the Research and Development Institute on Regional Information” (6号)	Chaweewan and Toyoda Yusuke		
87	豊田祐輔	Evaluating collaboration projects between university and community by social capital: A case study of Satoyama project and Gardening project at Ritsumeikan University	共著	2017年3月	“ Journal of Regional Information and Development (Bulletin of the Research and Development Institute on Regional Information)” (6号)	Phiwsuwan Tunpisa, Denpaiboon Chaweewan and Toyoda Yusuke	66-79	無
88	豊田祐輔	Evaluating Community Activities Based on Core Competency: Case Study on Network of Ban Jum Rung Community Organization	共著	2017年3月	“ Journal of Regional Information and Development (Bulletin of the Research and Development Institute on Regional Information)” (6号)	Nisayoung Kingfa, Denpaiboon Chaweewan and Toyoda Yusuke	52-65	無
89	豊田祐輔	「社会人基礎力」をグループ活動に適用した短期国際PBL研修の評価	単著	2017年3月	地域情報研究-立命館大学地域情報研究所紀要-(6号)	豊田祐輔	93-105	無
90	中谷友樹	健康の社会格差と地域格差	共著	2016年1月	地理(61巻1号)	中谷友樹・埴淵知哉	51-57	無
91	中谷友樹	Food accessibility and perception of shopping difficulty among elderly People living alone in Japan,2016:20(9):	共著	2016年		Ishikawa, M., Yokoyama, T., Nakaya, T., Fukuda, Y., Takemi, Y., Kusama, Y., Yoshiike, N., Nozue, M., Yoshiba, K., Murayama, N.	904-911	有
92	中谷友樹	Suitable habitats for the establishment of Shorea curtisii seedlings in a primary hill forest in Malaysia,	共著	2016年	Journal of Tropical Forest Science 28 (Special Issue)	Yagihashshi T, Otani T, Nakaya T, Tani N, Sato T, Abd Rahman K & Niiyama K	353-358	有
93	中谷友樹	“Eating together” is associated with food behaviors and demographic factors of older Japanese people who live alone.	共著	2016年	Journal of Nutrition, Health & Aging. 2016. (in press)	Ishikawa M, Takemi Y, Yokoyama T, Kusama K, Fukuda Y, Nakaya T, Nozue M, Yoshiike N, Yoshiba K, Hayashi F, Murayama N.		有
94	中谷友樹	Association between satisfaction with state of health and meals, physical condition and food diversity, health	共著	2016年	Journal of Nutrition, Health & Aging. 2016. (in press)	Ishikawa M, Yokoyama T, Takemi Y, Fukuda Y, Nakaya T, Kusama K, Yoshiike N,		有

		behavior, and perceptions of shopping difficulty among older people living alone in Japan.				Nozue M, Yoshiba K, Murayama N.		
95	中谷友樹	Prevalence of inadequate nutrient intake in Japanese community-dwelling older adults who live alone.	共著	2016年	Journal of Nutritional Science and Vitaminology. 2016. (in press)	Nozue M, Ishikawa M, Takemi Y, Kusama K, Fukuda Y, Yokoyama T, Nakaya T, Nishi N, Yoshiba K, Murayama N.		有
96	中谷友樹	近年の新聞報道からみた社寺における盗難と火災	共著	2016年	歴史都市防災論文集(10巻)	谷崎友紀・中谷友樹	67-74	有
97	中谷友樹	Physical and social determinants of dietary variety among elderly living alone in Japan, (accepted).	共著		Geriatrics & Gerontology International,	Fukuda1, Y., Ishikawa, M., Yokoyama, T., Hayashi, T., Nakaya, T., Takemi, Y., Kusama, K., Yoshiike, N., Nozue, M., Yoshiba, K., Murayama, N.		有
98	中谷友樹	犯罪予防にGISを活かす	単著	2016年	地理(61巻4号)	中谷友樹	42-49	無
99	中谷友樹	健康リスクの地域較差と居住地域の貧困	共著	2016年	貧困研究16	中谷友樹・埴淵知也	5-16	無
100	中谷友樹	大規模災害発生時の帰宅困難に関わる学生の認知距離	共著	2016年	立命館地理学28	谷端郷・米島万有子・福田一史・中谷友樹・細井浩一	39-54	無
101	中谷友樹	地域のウォークアビリティとソーシャル・キャピタル	共著	2016年	体育の科学,66-11	埴淵知哉・中谷友樹	805-810	
102	林倫子	愛知川右岸谷底低地の微高地に存在した畑地区の形態と立地に関する一考察	共著	2016年6月	土木史研究講演集(36巻)	林倫子・金度源・大窪健之	319-322	無
103	林倫子	効率的なノズル開発に向けた散水挙動の理論的考察 ～延焼火災から歴史的な木造密集市街地を守る街路壁面散水設備(WSS)の開発～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	栗原拓大, 大窪健之, 金度源, 林倫子	91-98	有
104	林倫子	歴史的な町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究 ～神戸市北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	金度源, 大窪健之, 林倫子, 塩田一貴	129-137	有

105	林倫子	阪神・淡路大震災における社寺の延焼抑止要因と避難地利用に関する調査研究 ～兵庫県神戸市の社寺を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	国島岳大, 大窪健之, 金度源, 林倫子	153-161	有
106	平尾和洋	歴史的風土特別保存地区における民家の屋敷構えに関する研究 明日香村の奥山・飛鳥・河原・野口・岡・島庄の六大字を事例として	共著	2016年3月	日本建築学会計画系論文集第81巻第721号(81巻721号)	山本直彦, 平尾和洋, 宮内杏里	675-685	有
107	平尾和洋	朽木谷における茅葺民家の残存および防火意匠の現状調査	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10号)	遠藤直久, 酒井理恵, 平尾和洋	83-90	有
108	平尾和洋	五箇山相倉集落合掌民家の消火・防火性能の現状調査、歴史都市防災論文集	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10号)	平尾和洋, 梶山雄大, 川村真弘	75-82	有
109	平尾和洋	ルイス・カーンのキーワード連関に基づいたデザイン発想・設計ツールの作成とその有効性に関する研究	共著	2017年3月	日本建築学会計画系論文集第82巻第733号(82巻733号)	遠藤直久, 吉岡慶祐, 平尾和洋	613-623	有
110	深川良一	平成23年度紀伊半島大水害の実態と教訓－「想定外」豪雨による地盤災害の軽減に向けた提言－	単著	2016年4月	地盤工学会誌(64巻4号)	深川良一	43-44	有
111	深川良一	重要文化財周辺斜面における斜面災害復旧対策	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	宇次原雅之、深川良一、山田守、堀江直樹、梶間義弘、長谷部聖志	39-46	有
112	深川良一	清水寺観測斜面における地上雨量とレーダ雨量との差異に関する一考察	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	檀上徹、藤本将光、石澤知浩、有光悠紀、深川良一	47-54	有
113	深川良一	京都市東山地域における斜面崩壊の潜在的危険度評価	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集、(10巻)	藤本将光、戸田堅一郎、有光悠紀、里深好文、深川良一	55-58	有
114	深川良一	ヒストグラムの認識に関する調査とベイズの定理を用いた正しい非難に有用なワードの分析	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	石田優子、崔明姫、酒井宏平、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦、深川良一	167-174	有
115	深川良一	平成23年度紀伊半島大水害の実態と教訓－「想定外」豪雨による地盤災害の軽減に向けた提言－、7. 「想定外」豪雨による地盤災害への対応と教訓	共著	2016年9月	地盤工学会誌(64巻9号)	深川良一・東原純	40-45	有
116	深川良一	平成23年度紀伊半島大水	単著	2016年9月	地盤工学会誌(64巻9号)	深川良一	46	有

		害の実態と教訓 - 「想定外」豪雨による地盤災害の軽減に向けた提言一、8. 講座を終えるにあたって						
117	深川良一	加振後の盛土斜面における降雨による斜面崩壊に関する研究	共著	2016年11月	関西ジオシンポジウム論文集(8-7)	野中慎介・平岡伸隆・角宏一・藤本将光・深川良一	6	有
118	藤本将光	京都市東山地域における斜面崩壊の潜在的危険度評価	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集, Vol.10	藤本将光、戸田堅一郎、有光悠紀、里深好文、深川良一	55-58	有
119	藤本将光	清水寺観測斜面における地上雨量とレーザ雨量との差異に関する一考察	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集, Vol.10	檀上徹、藤本将光、石澤友浩、有光悠紀、深川良一	47-54	有
120	藤本将光	清水寺周辺溪流における土石流氾濫解析	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集, Vol.10	縄手洋介、梶山敦司、藤本将光、里深好文	59-66	有
121	藤本将光	Influence of antecedent precipitation on slope failures at the Yokogakitoge pass	共著	2016年11月	International Journal of GEOMATE, The Geomate International Society, Vol. 11, Issue 26	Ishida Y., Kibayashi T., Konegawa T., Fujimoto M. and R. Fukagawa,	2626-2632	有
122	藤本将光	Characteristics of rain infiltration in soil layers on the hillslope behind important cultural asset	共著	2016年1月	International Journal of GEOMATE, The Geomate International Society, Vol. 10, Issue 22	Arimitsu Y., Fujimoto M., Hiraoka N., Danjyo T., Ishida Y. and R. Fuykagawa	2109-2115	有
123	宗本晋作	神戸の震災による環境変化に対する地域住民の景観認知について	共著	2016年2月	日本建築学会計画系論文集(81(720)巻)	北本 英里子,山田 悟史,宗本晋作,大内宏友,及川清昭	357-367	有
124	宗本晋作	全方位緑視率を用いた緑地環境に対する印象評価 推定モデル作成と検証ー 全方位緑視率と印象評価 実験をもとにした自己組織化マップを用いてー	共著	2016年9月	日本建築学会計画系論文集(81(727)巻)	山田悟史,藤井健史,宗本晋作	2083-2093	有
125	宗本晋作	ベイジアンネットワークを用いた緑視率に基づく緑環境評価の確率モデルに関する研究	共著	2016年11月	日本建築学会計画系論文集(81(729)巻)	宗本晋作,山田悟史	2411-2419	有
126	宗本晋作	緑ノビル	単著	2016年3月	日本建築学会 作品選集 2016(131 巻)	宗本晋作	176-177	有
127	吉越昭久	都市の発展と水環境問題の変化	単著	2016年3月	山下亜紀郎編著『土地利用でみるアジアの都市化と自然環境』筑波大学出版会	吉越昭久	1-18,111-131	無
128	吉越昭久	書評 池田碩『1995. 1. 17 大地震と六甲山地』	単著	2017年3月	国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所 「京都歴史災害研究」第18号	吉越昭久		無
129	吉富信太	Direct Linear System Identification Method for Multistory Three-	共著	2017年3月	Frontiers in Built Environment, 3, 17	Shintani K, Yoshitomi S and Takewaki I		有

		dimensional Building Structure with General Eccentricity						
130	吉富信太	高山伝統構法木造建築物の3次元地震応答解析による積雪荷重の影響	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	村田晶, 清水一史, 吉富信太, 向坊恭介	1-8	有
131	吉富信太	EARTHQUAKE RESPONSE ANALYSIS OF TRADITIONAL TIMBER GATE OF HIGASHI-HONGANJI TEMPLE BASED ON 3D ANALYTICAL MODEL	共著	2016年	Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Shinta Yoshitomi, Kyosuke Mukaibo, Hideaki Tanahashi, Yoshiyuki Suzuki		無
132	吉富信太	Seismic reinforcement for traditional timber gate utilizing external stairs	共著	2016年	Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Kyosuke MUKAIBO, Hideaki TANAHASHI, Shinta YOSHITOMI, and Yoshiyuki SUZUKI		無
133	吉富信太	高山市伝統木造軸組構法建物における柱脚特性を考慮した全体架構モデルの応答解析	共著	2016年	歴史都市防災論文集(10巻)	吉富信太, 河村拓実, 村田晶, 向坊恭介	9-14	有
134	吉富信太	木造建物を想定した柔床多層多構面モデルのシステム同定法	共著	2016年	日本建築学会学術講演梗概集	新谷謙一郎, 吉富信太	969-970	無
135	吉富信太	偏心立体骨組の縮約モデルを用いた時刻歴応答解析における省力自由度応答の復元法	共著	2016年	日本建築学会学術講演梗概集	明野真大・吉富信太	969-970	無
136	吉富信太	地盤・建物系3次元有限要素モデルを用いた隣接建物群の動的相互作用に関する検討	共著	2016年	日本建築学会学術講演梗概集	山下裕大・吉富信太	969-970	無
137	吉富信太	地盤及び基礎構造の影響を考慮した高層建物のシステム同定法	共著	2016年	日本建築学会学術講演梗概集	横山遼・吉富信太	969-970	無
138	石田優子	STUDY ON INCLINATION OF PRANG AT AYUTTHAYA, THAILAND	共著	2016年3月	Proceedings of the 6th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	Y.Ishida, S.Chijiwa, A.Oya, C.Denpaiboon, D.Rinchumphu, Y.Toyota, H.Kanegae, M.Fujimoto and Ryoichi fukagawa	2-5	査読無
139	石田優子	CHARACTERISTICS	共著	2016年6月	International Journal of GEOMATE (Vol.10)	Yuuki Arimitsu, Masamitsu	2109-2115	査読有

		OF RAIN INFILTRATION IN SOIL LAYERS ON THE HILLSLOPE BEHIND IMPORTANT CULTURAL ASSET				Fujimoto, Nobutaka Hiraoka, Toru Danjo, Yuko Ishida and Ryoichi Fukagawa		
140	石田優子	ユニバーサルサインの認識に関する調査とベイズの定理を用いた正しい避難に有用なワードの分析	共著	2016年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集(10巻)	石田優子, 崔明姫, 酒井宏平, 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦, 深川良一	167-174	査読有
141	石田優子	INFLUENCE OF ANTECEDENT PRECIPITATION ON SLOPE FAILURES AT THE YOKOGAKI-TOGE PASS	共著	2016年10月	International Journal of GEOMATE (Vol.11)	Yuko Ishida, Tsuyoshi Kibayashi, Tatsuo Konegawa, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa	2626-2632	査読有
142	石田優子	平成23年台風12号により和歌山県東牟婁地域で発生した土砂災害の地理的特性	共著	2016年11月	地盤工学会関西支部、Kansai Geo-Symposium2016 論文集	中村誠, 田内裕人, 江種伸之, 藤井翔太郎, 石田優子, 後誠介	37-42	査読有
143	石田優子	通潤橋の地震応答特性に関する研究	共著	2017年2月受理	土木学会論文集	伊津野和行, 石田優子, 藤本将光, 深川良一		査読有
144	石田優子	STUDY ON SETTLEMENT OF INCLINATED STUPA AT AYUTTHAYA, THAILAND	共著	2017年3月	Proceedings of the 7th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	Y.Ishida, A.Oya, C.Denpaiboon, D.Rinchumphu, Y.Toyota, H.Kanegae, M.Fujimoto and Ryoichi fukagawa	No.S2-6, 1-8	査読無
145	谷端郷	大規模災害発生時の帰宅判断に関わる学生の認知距離	共著	2016年11月	立命館地理学28	谷端郷・米島万有子・福田一史・中谷友樹・細井浩一	39-54	有
146	谷端郷	マップコンテストによる子どもの防災・防犯教育への取り組みの成果と課題—「第10回夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告—	共著	2017年3月	京都歴史災害研究18	谷端郷・崔明姫・石田優子・金度源		有
147	有光悠紀	清水寺観測斜面における地上雨量とレーダ雨量との差異に関する一考察	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集vol10	檀上徹, 藤本将光, 石澤友浩, 有光悠紀, 深川良一	47-58	有
148	酒井宏平	ピクトグラムの認識に関する調査とベイズの定理を用いた正しい避難に有用なワードの分析	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集vol10	石田優子, 崔明姫, 酒井宏平, 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦, 深川良一	167-174	有

149	高杉三四郎	2015年ゴルカ地震における伝統的中庭空間の避難時の利用実態-世界遺産カトマンズ・パタン地区を対象に-	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集vol10	高杉三四郎、大窪健之、サキヤラタ、金度源、林倫子	195-202	有
-----	-------	---	----	---------	----------------	--------------------------	---------	---

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	青柳憲昌	「草津市内に残る歴史的建造物の実態調査」	2016年12月	環びわ湖大学・地域コンソーシアム・大学地域交流フェスタ 2016	小西佐枝・青柳憲昌・及川清昭・草津市教育委員会文化財保護課
2	青柳憲昌	『近代の産業遺産の保存と多様で魅力的な活用ー日本、ドイツ、オランダ、シンガポール、中国の事例ー』	2017年3月	科学研究費助成研究基盤研究(A)国際シンポジウム「近代の産業遺産の保存と活用に関する国際シンポジウム」予稿集	斎藤英俊・平賀あまな・北尾靖雅・西川博美・青柳憲昌(編集)
3	青柳憲昌	『近代の産業遺産の保存と多様で魅力的な活用ー日本、オランダ、イタリア、台湾の事例ー』	2016年11月	科学研究費助成研究基盤研究(A)国際シンポジウム「近代の産業遺産の保存と活用に関する国際シンポジウム」予稿集	斎藤英俊・平賀あまな・北尾靖雅・西川博美・青柳憲昌(編集)
4	青柳憲昌	「歴史文化都市の防災と建築史学」	2017年2月	立命館大学土曜講座	青柳憲昌
5	泉知論	Java ベース高位合成によるゲーム木再帰探索のハードウェア化の試行	2016年3月	第3回人工知能とハードウェア・ソフトウェア協調設計ワークショップ	広江友哉, 大野真史, 泉知論
6	泉知論	JAVA ベース高位合成系 Synthesizer による O×ゲーム探索再帰記述のハードウェア化	2016年9月	電子情報通信学会 技術研究報告, Vol.116, No.210, RECONF2016-28, pp.19-22	広江友哉, 大野真史, 泉知論, 孟林
7	泉知論	Vivado HLS による O×ゲーム探索再帰記述のハードウェア化	2016年11月	電子情報通信学会 技術研究報告, Vol.116, No.332, RECONF2016-44, pp.25-28	広江友哉, 大野真史, 泉知論, 孟林
8	泉知論	高速カメラを用いた可視光通信のための光源追跡モジュールの並列化の検討	2017年1月	電子情報通信学会 技術研究報告, Vol.116, No.417, VLD2016-73, CPSY2016-109, RECONF2016-54, pp.19-23	中原優, 泉知論, 孟林, 白木善史, 鎌本優, 守谷健弘
9	泉知論	線分抽出パラメタの自動最適化による甲骨文字認識率の向上	2017年2月	電子情報通信学会 技術研究報告, Vol.116, No.464, IE2016-122, ITS2016-64, pp.315-320	鈴木達也, 孟林, 泉知論
10	板谷(牛谷)直子	Introduction the Context of Historic City of Kyoto	2016年9月	International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2016	Naoko ITAYA
11	板谷(牛谷)直子	Lesson from post disaster recovery of Cultural heritage In case of Minami-Sanriku-Cho, Miyagi Prefecture	2016年9月	International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2016	Naoko ITAYA
12	伊津野和行	地震応答の局所定常 AR モデルに基づく木質構造の損傷検出	2016年5月	第19回応用力学シンポジウム	野村泰稔・山際渚・伊津野和行
13	伊津野和行	地震応答評価に基づく構造ヘルスマニタリング技術の基礎的研究	2016年6月	平成28年度土木学会関西支部年次学術講演会	山際渚・野村泰稔・伊津野和行
14	伊津野和行	通潤橋の地震応答特性に関する研究	2016年10月	第36回地震工学研究発表会	伊津野和行・石田優子・藤本将光・深川良一
15	大窪健之	「熊本地震緊急調査」	2016年5月	熊本県	大窪健之(団長)ほか 歴史都市防災研究所有志
16	大窪健之	「松山城防災整備調査」	2016年5月	愛媛県	大窪健之

17	大窪健之	「松本城防災整備検討のための調査」	2016年6月	長野県	大窪健之
18	大窪健之	Importance of historic elements as courtyards, narrow paths and water places for rehabilitation towards safe and historical environment in Kathmandu,	2016年2月	A Workshop Series on the Post-Earthquake Recovery of Cultural Heritage in Nepal, Kathmandu (DoA) Nepal	Takeyuki Okubo and DoWon Kim
19	小川圭一	歴史都市における指定避難所を経由した広域避難場所への効果的な避難経路に関する研究	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一, 藤井勇希, 塚口博司, 安隆浩
20	鐘ヶ江秀彦	Effect of Disaster Information on Tourist Areas	2016年5月	36th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment	Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae
21	鐘ヶ江秀彦	Residents recognition of local information supply	2016年5月	36th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment	Hiroari SHIMIZU, Kohei SAKAI, Ayaka HONDA, Hidehiko KANEGAE
22	鐘ヶ江秀彦	The Basic Study on Regional Information Supply to Residents-the View and History of Kairanban; Notice for Circulation-	2016年6月	14th PRSCO Summer Institute	Hiroari SHIMIZU, Hidehiko Kanegae
23	鐘ヶ江秀彦	An Estimation Model of Regional Economic Damage Due to Earthquake & Tsunami Disaster	2016年6月	14th PRSCO Summer Institute	Mingji Cui, Hitoshi Taniguchi, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae
24	鐘ヶ江秀彦	A Study on Tourists' Awareness of Disaster Prevention Toward Regional Disaster Prevention Plans Considering Tourists	2016年6月	14th PRSCO Summer Institute	Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae
25	鐘ヶ江秀彦	回覧板の現代的な活用方法-コミュニティ政策下における位置付け-	2016年9月	第39回日本計画行政学会全国大会	清水泰有, 小野聡, 鐘ヶ江秀彦
26	鐘ヶ江秀彦	過去の被害事例に基づく歴史観光都市の経済的影響の定量評価分析	2016年10月	日本地域学会第53回年次大会	崔明姫, 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦
27	鐘ヶ江秀彦	Analysis on Tourists' Behavior in Historic City after Disaster	2016年10月	The 4th International Conference on Urban Disaster Reduction: Sustainable Disaster Recovery: Addressing Risks and Uncertainty”	Mingji Cui, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae
28	川合誠	無線センサーネットワーク	2016年1月	2015年度次世代ワイヤレス通信技術講座	川合誠

		クにおける測位技術			
29	川崎佑磨	Monitoring of Acoustic Emission on Corroded RC Beam due to Chloride Induced Corrosion	2016年1月	ICEIT-2016	Yuma Kawasaki, Takuo Gonno, Kazuyuki Izuno
30	川崎佑磨	Basic Study on Efflorescence affected in Environmental Conditions of Porous Concrete Pavement	2016年1月	ICEIT-2016	Hiroyuki Matsushita, Masaki Terashima, Yuma Kawasaki, Daiki Atarashi, Takayasu Yoshida and Takahisa Okamoto
31	川崎佑磨	RI 計器を用いたポーラスコンクリートの空隙率評価に関する研究	2016年5月	第70回セメント技術大会	中新弥、安部良介、川崎佑磨、岡本享久
32	川崎佑磨	乾湿繰返し環境におけるポーラスコンクリートからの溶脱に関する化学的分析	2016年5月	第70回セメント技術大会	川崎佑磨、新大軌、吉田貴保、岡本享久
33	川崎佑磨	Proposal on Porosity Estimation Method of Porous Concrete by using Radioisotope	2016年8月	2016ISEAS	Ryosuke ABE, Yuma KAWASAKI, Takahisa OKAMOTO
34	川崎佑磨	Estimation of Corrosion Location on Steel using Acoustic Emission Technique	2016年8月	2016ISEAS	Akira Matsumoto, Yuma kawasaki
35	川崎佑磨	Evaluation of Delamination between Concrete and Steel Jacket by Elastic Wave Method	2016年8月	2016ISEAS	Hiroataka Sakurai, Yuma Kawasaki
36	河角直美	近代京都における市街地南部の拡張過程	2016年8月	2016年度日本建築学会大会 学術講演会	中村莉乃・小畑紗良・河角直美・大場修
37	鈴木祥之	繰り返し加力を受ける木材のめり込み復元力特性に関する実験的研究	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究報告会	白井悠吾、岩本いづみ、棚橋秀光、鈴木祥之
38	鈴木祥之	伝統木造仕口の繰り返しめり込みの復元力特性	2016年8月	日本建築学会大会学術講演会	大岡 優、棚橋 秀光、鈴木祥之
39	鈴木祥之	実大実験による顕し貫土壁の復元力特性評価 その2 竹小舞下地試験体での比較実験	2016年8月	日本建築学会大会学術講演会	中治弘行、鈴木祥之
40	大窪健之	歴史的な町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究-神戸市北野町山本通重要伝統	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム @立命館大学衣笠キャンパス	金度源・大窪健之・林倫子・塩田一貴

		的建造物群保存地区を対象として-			
41	大窪健之	避難方法の選択が住民の避難行動の開始段階に及ぼす影響に関する研究	2016年5月	平成28年度土木学会関西支部年次学術講演会	壺井克弥・林 倫子・大窪健之・金 度源
42	大窪健之	効率的なノズル開発に向けた散水挙動の理論的考察：延焼火災から歴史的な木造密集市街地を守る街路壁面散水設備(WSS)の開発	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム @立命館大学衣笠キャンパス	栗原拓大・大窪健之・金度源・林倫子
43	大窪健之	2015年ゴルカ地震における伝統的中庭空間の避難時の利用実態-世界遺産カトマンズ・バタン地区を対象に-	2016年7月	ICOMOS International Scientific Symposium Post-Disaster Reconstruction @Istanbul Turkey	Takeyuki OKUBO ・ Michiko HAYASHI ・ Dowon KIM
44	大窪健之	阪神・淡路大震災における社寺の延焼抑止要因と避難地利用に関する調査研究-兵庫県神戸市の社寺を対象として-	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム @立命館大学衣笠キャンパス	高杉三四郎・大窪健之・サキャラタ・金度源・林倫子
45	大窪健之	防災活動への合意形成を目指した住民ワークショップ手法に関する研究：京都府与謝野町加悦重伝建地区を対象として	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム @立命館大学衣笠キャンパス	国島岳大・大窪健之・金度源・林倫子
46	大窪健之	歴史的な町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究-神戸市北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区を対象として-	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム @立命館大学衣笠キャンパス	宮田雄大・大窪健之・金度源・林倫子
47	大窪健之	災害情報を即時共有する地域防災情報システムの機能拡張と地域特性に着目した配信方法の検討：与謝野町加悦重伝建地区を対象として	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム @立命館大学衣笠キャンパス	大窪健之・岩井渉・金度源・林倫子
48	豊田祐輔	Effects of Public Preparedness on Intentions to return Home of Tourists unable to Return Home after Earthquakes: In the Case of the World Cultural Heritage Site,	2016年6月	The 14th PRSCO (The Pacific Regional Science Conference Organization) Summer Institute	Toyoda Yusuke*, Sakai Kohei and Kimura Arisa

		Himeji Castle			
49	豊田祐輔	An Estimation Model of Regional Economic Damage due to Earthquake and Tsunami Disaster	2016年6月	The 14th PRSCO (The Pacific Regional Science Conference Organization) Summer Institute	Cui Mingji*, Taniguchi Hitoshi, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
50	豊田祐輔	A Study on Tourist ' Awareness of Disaster Prevention toward Regional Disaster Prevention Plans Considering Tourists	2016年6月	The 14th Pacific Regional Science Conference Organization Summer Institute Proceeding Book	Sakai Kohei*, Cui Mingji, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
51	豊田祐輔	世界文化遺産・姫路城における地震発生後の帰宅困難観光客の帰宅意思に関する研究	2016年9月	日本環境共生学会第19回(2016年度)学術大会 発表論文集	豊田祐輔*、酒井宏平、木村麻里早
52	豊田祐輔	地域での防災活動ならびに防災訓練への参加意図に関する研究	2016年10月	日本地域学会第53回年次大会学術発表論文集	豊田祐輔
53	豊田祐輔	A Study on Disaster Sport Festival for Passive Participants in Urban Areas	2016年10月	Proceedings of 4th International Conference on Urban Disaster Reduction: Sustainable Disaster Recovery: Addressing Risks and Uncertainty	Toyoda Yusuke
54	中谷友樹	公園の配分における環境正義の分析客観的および認知的な近接性と地理的剥奪指標の関係	2016年 3月21日	2016年日本地理学会春季学術大会 早稲田大学、 東京	安本晋也・中谷友樹
55	中谷友樹	公園の近接性における環境正義の健康格差への影響	2016年 11月13日	2016年人文地理学会大会、京都 大学、京都	安本晋也・中谷友樹
56	中谷友樹	位置情報付き Tweet による蚊の発生に関する時空間分析	2016年 10月15-16日	地理情報システム学会第25回研究発表大会、 立正大学、東京	米島万有子・桐村 喬・安本晋也・中谷友樹
57	中谷友樹	気候値を考慮した蚊媒介性感染症の流行リスクマップ	2016年 10月15-16日	地理情報システム学会第25回研究発表大会、 立正大学、東京	安本晋也・中谷友樹・米島万有子
58	中谷友樹	GIS を用いた食環境指標の可能性」シンポジウム「社会経済的要因と栄養・食生活	2016年 10月26日	第75回日本公衆衛生学会総会、グランフロント大阪	中谷友樹
59	中谷友樹	歴史都市防災研究所所蔵資料画像データベース	2016年 10月15日	2016年度第4回歴史都市防災研究所定例研究会、キャンパスプラザ京都、京都	谷端郷・中谷友樹
60	中谷友樹	近年の新聞報道からみた社寺における盗難と火災	2016年 7月9日	歴史都市防災シンポジウム(立命館大学)	谷崎友紀・中谷友樹
61	中谷友樹	Trends in areal socio-	2016年 6月21-24日	the 2016 Epidemiology Congress of the Americas, in Miami, US	Ito, Y., Fukui, K., Yonejima, M., Kondo, N. and Nakaya, T

		economic inequalities of mortality of all and main causes of death in Japan: 1995-2014			
62	林倫子	災害情報を即時共有する地域防災情報システムの機能拡張と地域特性に着目した配信方法の検討～与謝野町加悦重伝建地区を対象として～	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム	大窪健之, 岩井渉, 金度源, 林倫子
63	林倫子	2015年ゴルカ地震における伝統的中庭空間の避難時の利用実態 ー世界遺産カトマンズ・パタン地区を対象にー	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム	高杉三四郎, 大窪健之, サキヤラタ, 金度源, 林倫子
64	平尾和洋	五箇山相倉集落における消火性能及び防火意匠の考察	2016年6月	日本建築学会北海道支部研究報告集	石川一平, 相山雄大, 平尾和洋
65	平尾和洋	ルイス・カーンのキーワードに関連に基づいた設計支援ツールの改良と実務課題における有効性の検証	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	藤関利光, 前原竹二, 遠藤直久, 平尾和洋
66	平尾和洋	朽木谷河川流域茅葺民家の現状調査と諸特性分析 その2ー防火意匠の現状調査と今後の対策ー	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	遠藤直久, 酒井理恵, 平尾和洋, 青柳憲昌, 小西佐江
67	平尾和洋	朽木谷河川流域茅葺民家の現状調査と諸特性分析 その1ー主屋規模の定量分析と妻入・平入分布域に関する考察ー	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	杉森大起, 酒井理恵, 遠藤直久, 平尾和洋, 青柳憲昌, 小西佐江
68	平尾和洋	日本海側豪雪地域における重要文化財指定民家の諸特性分析その2ー梁間断面図からみる定量分析ー	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	川村真弘, 相山雄大, 平尾和洋
69	平尾和洋	日本海側豪雪地域における重要文化財指定民家の諸特性分析その1ー展開断面図を用いた構造類型ー	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	平尾和洋, 相山雄大
70	平尾和洋	江戸時代末期から明治・大正時代にかけての高山町家の平面形式の変化	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	山路ゆり, 青柳憲昌, 小西佐江, 平尾和洋
71	平尾和洋	高山における町家(商家)	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	青柳憲昌, 山路ゆり, 平尾和洋

		の近代化の一側面—鍋島家住宅・長瀬家住宅の建築史調査報告—			
72	平尾和洋	ルイス・カーンのキーワード連関に基づいた設計支援ツールの改良と実務課題における有効性の検証	2016年8月	日本建築学会大会学術梗概集	佐藤峻亮, 前原竹二, 遠藤直久, 平尾和洋
73	平尾和洋	朽木谷河川流域茅葺民家の現状調査と諸特性分析—妻入・平入分布域に関する考察—	2016年8月	日本建築学会大会学術梗概集	小池潤, 酒井理恵, 平尾和洋
74	平尾和洋	日本海側豪雪地域における民家の諸特性分析—展開断面図を用いた構造類型—	2016年8月	日本建築学会大会学術梗概集	小林和敬, 梶山雄大, 平尾和洋
75	福水洋平	ナンバープレート数字画像認識に適合した画素値選択型超解像	2016年3月	電子情報通信学会 2016 総合大会	辻広生, 福水洋平, 道関隆国, 山内寛紀, 中瀬裕太, 吉川歩
76	深川良一	Geo-hazards due to Kumamoto Earthquake in April 2016	2016年11月	Proc. of 2016 Taiwan Rock Engineering Symposium	Ryoichi Fukagawa
77	深川良一	Required strength estimation of improved soil based on FEM sensitivity analyses	2016年11月	Proc. of 2016 Taiwan Rock Engineering Symposium	Ayaka Oya, Satoru Iida, Takashi Yamamoto, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa
78	深川良一	Monitoring of slope stability at 86.9km point of Taiwan Alishan road reinforced by Soil Nailing Method	2016年11月	Proc. of 2016 Taiwan Rock Engineering Symposium	Naoto Iwasa, Hiroshi Kokuryo, Li Derher, Hung Ming Lin, Ryoichi Fukagawa, Masamitsu Fujimoto and Kazunari Sako
79	藤本将光	重要文化財後背斜面における間隙水圧値を用いた斜面崩壊危険度予測の検討	2016年5月	砂防学会研究発表	有光悠紀, 藤本将光, 檀上徹, 平岡伸隆, 石田優子, 深川良一
80	藤本将光	山間部における雨量観測データの精度評価	2016年5月	砂防学会研究発表	石田優子, 木林幹, 古根川竜夫, 道広有理, 藤本将光, 深川良一
81	藤本将光	山間部の多点雨量計測における樹冠通過雨量と開空度との相関	2016年9月	地盤工学会研究発表会	石田優子, 奥田瞭太, 木林幹, 古根川竜夫, 道広有理, 藤本将光, 深川良一
82	矢野桂司	総合病院の経路探索における可読性と視認性に基づく誘導サインの評価手法の研究-N 病院の外来診療部を対象として-	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	竹中賢太, 宗本晋作, 河合慎介
83	矢野桂司	ベイジアンネットワークを用いた学生向け賃貸マンションに対する選択行	2016年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	宗本晋作, 山田悟史

		動に関する研究			
84	矢野桂司	ZEH+水-水と暮らしの 重ね箱-その1: 計画趣旨 と空間構成	2016年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	上坂僚,近本智行,宗本晋作他
85	矢野桂司	ZEH+水-水と暮らしの 重ね箱- その2: 導入した技術と 住宅の展開	2016年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	五明遼平,近本智行,宗本晋作他
86	矢野桂司	FirstResponder 育成及 び ByStander の FirstAid に対する Self- Effi cacy 向上の有効性 の検証と AED 配置に関 する試行	2016年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	山田悟史,遠藤伸太郎,宗本晋作,小峯 力
87	矢野桂司	WebGIS-based Application for Compering Folding Screens of Rakuchū rakugai-zu (Scenes in and around Kyoto) with Maps.	2016年4月	International Cartographic Association: Commission on Cartographic Heritage into the Digital jointly with the 20th Conference of the Map & Geoinformation Curators Group	Keiji Yano, Masanori Yamaji, Satoshi Imamura, Masao Kawashima, Kota Okukubo, and Tsuyoshi Nishiyama
88	矢野桂司	Virtual Kyoto: Perspectives on Historical GIS and spatial humanities	2016年5月	2016 International Seminar on the Making of Historical Atlas: Historical Atlas - Its concepts and methodologies	Keiji Yano
89	矢野桂司	Historical GIS and spatial humanities based on Virtual Kyoto	2016年6月	CASA Lunch Time Seminar	Keiji Yano
90	矢野桂司	Historical GIS and spatial humanities based on Virtual Kyoto	2016年6月	CASA Lunch Time Seminar	Keiji Yano
91	矢野桂司	英国の Postcode から何 が分かるか? -地理空間 情報活用の最前線	2016年6月	第3回立命館セミナー・シリーズ	矢野桂司
92	矢野桂司	Virtual Kyoto based on Digital Humanities	2016年8月	International Geographical Congress 2016.K34: VGE as a Key Component of Geographic Knowledge Engineering, China	Keiji Yano
93	矢野桂司	すまいに関する意識調査 に基づく住宅の耐震化普 及啓発の一考察-既存建 築物の長寿命化を目的と した支援制度に関する研 究(その2) -	2016年8月	2016年度日本建築学会大会建築社 会システム	河野学・生川 慶一郎・矢野桂司
94	矢野桂司	Historical GIS and Digital Humanities based on Virtual Kyoto	2016年9月	HARVARD JAPAN EVENTS Fall 2016	Keiji Yano

95	矢野桂司	地価分布状況に対応した 固定資産税路線価検証の ための自然分類手法の提 案	2016年10月	第25回学術研究発表大会	青木和人・武田幸司・矢野桂司・中谷 友樹
96	矢野桂司	墓石色境からみる分類手 法の検討	2016年10月	第25回学術研究発表大会	武田幸司・青木和人・矢野桂司・中谷 友樹
97	矢野桂司	居住者属性から見た近隣 生活施設へのアクセシビ リティ格差—ジオデモグ ラフィクスを活用した小 地域分析	2016年11月	2016年人文地理学会大会 研究発表 要旨 pp.58-59	上杉昌也・矢野桂司
98	矢野桂司	現場教員のための地図 /GIS研修の産官学連携に よる支援活動	2016年12月	日本学術会議公開シンポジウム「高 等学校地理総合(仮称)必修化によ る地理教育への社会的期待と課題— 現場の地理歴史科教員を支援するた めに日本学術会議は何ができるか—	矢野桂司
99	山崎有恒	近代日本の植民地におけ る災害と防災について	2016年3月	立命館大学歴史都市防災研究所定例 研究会	山崎有恒
100	石田優子	山間部における雨量観測 データの精度評価	2016年5月	平成28年度(公社)砂防学会研究発 表会	石田優子
101	石田優子	ユニバーサルサインの認 識に関する調査とベイズ の定理を用いた正しい避 難に有用なワードの分析	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム	石田優子
102	石田優子	山間部の多点雨量計測に おける樹冠通過雨量と開 空度との相関	2016年9月	第51回地盤工学研究発表会	石田優子
103	石田優子	現地計測結果に基づく地 盤内浸透と地下水位変動 特性に関する一考察	2016年9月	第51回地盤工学研究発表会	檀上徹
104	石田優子	平成23年台風12号によ り和歌山県東牟婁地域で 発生した土砂災害の地理 的特性	2016年11月	Kansai Geo-Symposium2016	中村誠
105	崔明姫	南海トラフ地震を想定し た経済的被害の推計方法 に関する研究「査読有」	2016年3月	計測自動制御学会システム・情報部 門, 第10回社会システム部会研究会	崔明姫, 谷口仁士, 豊田祐輔, 鐘ヶ江 秀彦
106	崔明姫	Effect of Disaster Information on Tourist Areas 「査読有」	2016年5月	36th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment	Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae
107	崔明姫	An Estimation Model of Regional Economic Damage Due to Earthquake & Tsunami Disaster 「査読 有」	2016年6月	The Pacific Regional Science Conference Organisation (PRSCO) 2016	Mingji Cui, Hitoshi Taniguchi, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae
108	崔明姫	A Study on Tourists' Awareness of Disaster	2016年6月	The Pacific Regional Science Conference Organisation (PRSCO) 2016	Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae

		Prevention Toward Regional Disaster Prevention Plans Considering Tourists 「査読有」			
109	崔明姫	過去の被害事例に基づく歴史観光都市の経済的影響の定量評価分析 「査読無」	2016年10月	日本地域学会第53回年次大会	崔明姫、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦
110	崔明姫	Analysis on Tourists' Behavior in Historic City after Disaster 「査読無」	2016年10月	The 4th International Conference on Urban Disaster Reduction: Sustainable Disaster Recovery: Addressing Risks and Uncertainty	Mingji Cui, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae
111	崔明姫	熊本地震による熊本市観光業の経済的被害について 「査読無」	2016年12月	東濃地震科学研究所 平成28年度第2回地域地震防災基準に関する基本問題研究委員会	崔明姫
112	崔明姫	マップコンテストによる子どもの防災・防犯教育への取り組みの成果と課題：「第10回夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告 「査読無」	2017年3月	京都歴史災害研究第18号	谷端郷、崔明姫、石田優子、金度源
113	谷端郷	大規模災害時の帰宅判断に関わる学生の認知距離	2016年3月	2016年日本地理学会春季学術大会	谷端郷・米島万有子・福田一史・中谷友樹・細井浩一
114	谷端郷	昭和戦前期神戸における阪神大水害と都市化	2016年5月	人文地理学会第142回歴史地理研究部会	谷端郷
115	谷端郷	熊本地震・緊急現地調査報告	2016年6月	熊本地震被災地緊急調査報告会（都市防災工学Iと合併開講）	大窪健之・伊津野和行・深川良一・吉富信太・武田史朗・金度源・石田優子・崔明姫・谷端郷
116	谷端郷	熊本地震・緊急現地調査報告	2016年6月	2016年度第3回歴史都市防災研究所定例研究会	大窪健之・伊津野和行・深川良一・吉富信太・武田史朗・金度源・石田優子・崔明姫・谷端郷
117	谷端郷	津波の教訓を伝える地名の行方—『岩手沿岸古地名考』の追跡調査—	2016年10月	2016年日本地理学会秋季学術大会	谷端郷・村中亮夫・塚本章宏・花岡和聖・磯田弦
118	谷端郷	歴史都市防災研究所所蔵資料画像データベース	2016年10月	2016年度第4回歴史都市防災研究所定例研究会	谷端郷・中谷友樹
119	谷端郷	1938年阪神大水害における神戸市の復旧・復興過程の地域差	2016年11月	立命館大学大学院文学研究科地理学専修大学院ゼミ	谷端郷
120	谷端郷	昭和戦前期における水害の地域的特徴—道府県別の水害に関する統計の分析—	2017年3月	2017年日本地理学会春季学術大会	谷端郷
121	谷端郷	オデザインによる京都府与謝野町の将来計画	2017年3月	2017年日本地理学会春季学術大会	谷端郷・矢野桂司・中谷友樹・花岡和聖

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	大窪健之	日本学術会議連携委員		2016年8月～11月
2	大窪健之	福井県若狭町・萩野家住宅保存活用計画検討委員		2016年9月～2017年3月
3	大窪健之	日本学術会議連携委員		2016年12月～2017年4月
4	大窪健之	史跡松山城趾保存活用計画策定専門委員		2017年4月～
5	大窪健之	清水寺周辺地域における歴史防災まちづくりのための特殊講義（夏期集中講義）		2016年9月18日～21日
6	大窪健之	招待講演：「地域を守る文化遺産の防災拠点化～歴史を活かす防災対策について～」、第2回「東本願寺と環境を考える市民プロジェクト」勉強会、	東本願寺	2016年1月21日
7	大窪健之	講演（Takeyuki Okubo and Dowon Kim）：”Importance of historic elements as courtyards, narrow paths and water places for rehabilitation towards safe and historical environments in Kathmandu,	A Workshop Series on the Post-Earthquake Recovery of Cultural Heritage in Nepal”, Kathmandu, Nepal	2016年2月22日～26日
8	大窪健之	招待講演：「The Importance of Cultural Heritage Conservation in Understanding Cultural Diversity and Wisdom - Traditional Disaster Mitigation Measures from Japanese Historic Cities-」	The 2nd SEAMEO Youth Leadership Forum, Holiday Inn Bangkok、タイ（バンコック）	2016年3月10日
9	大窪健之	研修講師：「防災の日常化～市民用消火栓とコミュニティ活動」	平成27年度・東山区防災研修会（つながる防災コミュニティ事業）、東山区役所	2016年3月15日
10	大窪健之	研修講師：「参加型技術講演会」、NPO 法人あすの夢土木	国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所	2016年7月5日
11	大窪健之	研修講師：「歴史と文化を災害から守るために」	滋賀県防災科学研修、滋賀県危機管理センター	2016年7月6日
12	大窪健之	研修講師：「Joint Workshop for Global Engineering」	タイ・モンクット王工科大学（KMUTT）	2016年7月26日～27日
13	大窪健之	招待講演：「災害多発地域における建築物の保存・再生を通じたまちづくり」、シンポジウム・災害多発地域における建造物の保存・再生～<ジレンマ>を超えて	日本建築学会創立130周年記念事業・建築文化週間2016、せんだいメディアテーク	2016年10月29日
14	大窪健之	招待講演：「身近な災害：関西で起こりうる災害と文化財の被害～直下型地震とこれに伴う都市火災の危険性とその対策事例～」	講演会・文化財を災害から守る2「今、そこにある危機～関西地域の災害と文化財」、けいはんなオープンイノベーションセンター	2016年11月12日
15	大窪健之	招待講演：「重要伝建地区・吉良川町における防災まちづくり活動～住民ワークショップから地区防災計画の提案へ～」	平成28年度高知へりテージマネージャー・サポーター養成講座、@ふくし交流プラザ（高知県）	2016年12月10日
16	板谷直子	歴史文化都市と災害の「記憶地図」・宮城県南三陸町	宮城県南三陸町	2016年4月-2017年3月
17	板谷直子	歴史文化都市と災害の「記憶地図」・仁和寺門前	仁和寺門前まちづくり協議会	2016年4月-2017年3月
18	伊津野和幸	熊本地震による通潤橋の被害と地震応答特性	立命館大学防災フロンティア研究会、2016年度第2回セミナー、京都タワーホテル、京都市	2016年10月28日
19	伊津野和幸	美しい橋、強い橋	防災カフェ、滋賀県危機管理センター、大津市、滋賀県	2016年11月10日
20	金度源	NPO 災害から文化財を守る会・技術部会幹事		平成20年～

21	金度源	歴史都市防災システム・機器開発研究会幹事		平成23年～
22	金度源	手づくりピコ発電水車プロジェクト	京の七夕事業@堀川	平成20年～
23	金度源	東本願寺と環境を考える市民プロジェクト 防災部門委員	東本願寺	平成20年～
24	金度源	先斗町まちづくり協議会運営協力	先斗町まちづくり協議会	平成26年～
25	金度源	先斗町火災対策ネットワーク会議	京都市消防局	平成28年7～9月
26	鈴木祥之	講習会「伝統構法建築物の耐震設計・耐震補強設計～伝統構法の限界耐力計算を習得するための実務者講習会～」	与謝野町ちりめん街道内瀬本宅	2016年7月30日～2016年8月7日
27	鈴木祥之	立命館大学防災フロンティア研究会2016年度第2回セミナー「熊本地震で何がおこったか」、講演「建築構造物の被害状況と耐震改修」	京都タワーホテル 9階 八閣の間	2016年10月28日～2016年10月28日
28	鈴木祥之	日本ばね学会第22回復元力応用分科会講演会、講演「伝統構法木造建築物の復元力特性と耐震性能」	京都テルサ 東館2階 視聴覚研修室	2016年11月18日～2016年11月18日
29	鈴木祥之	和の住まい推進リーディングセミナー「新たな伝統・文化の創造 和の住まいづくり」、基調講演「木でつくる住まいのカタチ（木造住宅の耐震と耐震改修）」	倉吉市伯耆しあわせの郷 大会議室	2017年1月20日～2017年1月20日
30	鈴木祥之	京都市土曜会、講演「京町家等の耐震性・耐震改修」	京都タワーホテル 8階 桜寿	2017年3月4日～2017年3月4日
31	高橋学	記事掲載	「現代ビジネス」	2016年4月16日
32	高橋学	記事掲載	「IWJ Office」	2016年4月17日
33	高橋学	記事掲載	「週刊現代」	2016年4月18日
34	高橋学	記事掲載	「週刊女性」	2016年4月19日
35	高橋学	記事掲載	「サンケイデジタル」	2016年4月20日
36	高橋学	記事掲載	「サンケイデジタル」	2016年4月20日
37	高橋学	記事掲載	「Japan Times」	2016年4月20日
38	高橋学	記事掲載	「日刊ゲンダイ」	2016年4月20日
39	高橋学	記事掲載	「女性セブン」	2016年4月21日
40	高橋学	記事掲載	「人民日報」	2016年4月22日
41	高橋学	記事掲載	「週刊文春」	2016年4月28日
42	高橋学	記事掲載	「日刊ゲンダイ」	2016年4月29日
43	高橋学	記事掲載	「日刊ゲンダイ」	2016年5月2日
44	高橋学	記事掲載	「IWJ Office」	2016年5月16日
45	高橋学	記事掲載	「週刊女性」	2016年5月16日
46	高橋学	記事掲載	「週刊ポスト」	2016年5月21日
47	高橋学	記事掲載	「週刊女性」	2016年5月23日
48	高橋学	記事掲載	「週刊フライデー」	2016年5月26日
49	高橋学	記事掲載	「IWJ Office」	2016年8月12日

50	高橋学	記事掲載	「IWJ Office」	2016年8月20日
51	高橋学	記事掲載	「週刊女性」	2016年8月30日
52	高橋学	記事掲載	「IWJ Office」	2016年10月10日
53	高橋学	記事掲載	「週刊女性」	2016年10月18日
54	高橋学	記事掲載	「京都民報」	2016年10月23日
55	高橋学	記事掲載	「IWJ Office」	2016年10月23日
56	高橋学	記事掲載	「日刊ゲンダイ」	2016年10月25日
57	高橋学	記事掲載	「日刊ゲンダイ」	2016年10月28日
58	高橋学	記事掲載	「週刊女性」	2016年10月25日
59	高橋学	記事掲載	「週刊女性」	2016年11月1日
60	高橋学	記事掲載	「週刊プレイボーイ」	2016年11月7日
61	高橋学	記事掲載	「週刊フライデー」	2016年11月18日
62	高橋学	記事掲載	「産経新聞」	2016年11月21日
63	高橋学	記事掲載	「JAPAN TIMES」	2016年11月22日
64	高橋学	記事掲載	「週刊女性」	2016年11月22日
65	高橋学	記事掲載	「週刊サンデー毎日」	2016年11月22日
66	高橋学	記事掲載	「週刊フライデー」	2016年11月25日
67	高橋学	記事掲載	「週刊女性」	2016年11月29日
68	高橋学	記事掲載	「週刊ナックルズ」	2016年11月30日
69	高橋学	記事掲載	「週刊プレイボーイ」	2016年12月5日
70	高橋学	記事掲載	「週刊フライデー」	2017年1月13日
71	高橋学	記事掲載	「週刊女性」	2017年1月17日
72	高橋学	記事掲載	「日刊ゲンダイ」	2017年1月18日
73	高橋学	記事掲載	「週刊フライデー」	2017年3月24日
74	高橋学	テレビ出演	「ニュース」RKB 毎日放送	2016年4月19日
75	高橋学	テレビ出演	「東京MX テレビ」	2016年4月21日
76	高橋学	テレビ出演	「スクランブル」フジテレビ	2016年4月21日
77	高橋学	テレビ出演	「ビートたけしのテレビタックル」 テレビ朝日	2016年4月24日
78	高橋学	ラジオ出演	「CBC ラジオ」	2016年4月20日
79	高橋学	ラジオ出演	「TBS ラジオ」	2016年4月20日
80	武田史朗	「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	「騒音気にせずラジオ体操～正面だけに音 超音波スピーカー～」 京都新聞 夕刊 : 9月3日(水)8面A	2014年9月3日～
81	武田史朗	「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	「超音波スピーカーさらば騒音 ～住宅密集でのびのび体操～」 2014年10月7日、朝日新聞(夕) 10A	2014年10月7日～
82	武田史朗	「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	「壬生オアシスガーデンで遊ぼう!」 京都三条ラジオカフェ (NPO 法人京都コミュニティ放送) の番組「まちづくりチョビット推進室」内	2014年12月20日～

			のインタビュー	
83	武田史朗	福良港津波防災ステーション ランドスケープ (作品)	造園作品選集 Vol.12 (日本造園学会誌 増刊第77号),p26-27	2014年～
84	武田史朗	あまが池親水緑地	造園作品選集 Vol.12 (日本造園学会誌増刊第77号),p24-25	2014年～
85	武田史朗	立命館大学理工新棟トリシアおよびそのランドスケープ	ランドスケープデザイン, マルモ出版, No.98,2014年8月,p30-31	2014年～
86	武田史朗	立命館大学大阪いばらきキャンパス計画およびランドスケープ	ランドスケープデザイン, マルモ出版, No.98,2014年8月,p25-28	2014年～
87	豊田祐輔	楽しみながら正しく行う防災	いばらきまちづくりラボ (いばらボ)	2015年12月12日～2016年2月20日
88	豊田祐輔	防災(災害)に強いまちづくり～住民によるボトムアップ～	『平成27年度 せつつ生涯学習大学院生涯学習リーダー養成講座①』 摂津市	2016年1月7日
89	豊田祐輔	「地域防災のこれからを見据えて」	(京都市) 新京極商店街振興組合『防災を考えるセミナー』 新京極商店街内 WITHYOU、京都市	2016年1月22日
90	豊田祐輔	立命館大学政策科学部でのPBLの取り組み	『第2回 PBL 授業報告会』長崎大学水産・環境科学総合研究科	2016年2月17日
91	豊田祐輔	防災まちづくりにみる生涯学習ーアクションラーニングに着目してー	『摂津市生涯学習合同研修会』 摂津市	2016年2月22日
92	豊田祐輔	世界文化遺産・姫路城における観光客の避難・帰宅システムの開発に関する研究	平成 26-27 年度姫路市連携大学フィールドワーク支援事業	2016年2月
93	豊田祐輔	地震津波災害を中心とした防災に関する共同調査と研究報告書	平成 27 年度 志摩市官学連携研究助成事業	2016年2月
94	豊田祐輔	公益財団法人 科学技術融合振興財団 平成 25 年度 (2013 年度) 調査研究助成 報告書 ゲーミング・シミュレーションによるレジリエントな都市の探求に関する研究	科学技術融合振興財団	2016年2月
95	豊田祐輔	防災まちづくりにおけるリスク・コミュニケーション手法としてのゲーミング・シミュレーション	公益財団法人 地震予知総合研究振興会 東濃地震科学研究所『東濃地震科学研究所報告 地震防災分野ー実践的地震防災教育・活動ー(3) (平成 27 年度)』 Sep. No.37、2016年3月、25-42 頁.	2016年3月
96	豊田祐輔	防災ことはじめ	茨木青年会議所『「和がまち茨木」事前事業『寺子屋いばらき』、立命館大学大阪いばらきキャンパス	2016年4月17日
97	豊田祐輔	防災運動会	防災運動会;立命館大学大阪いばらきキャンパス;主催:立命館大学豊田ゼミ、茨木青年会議所、茨木市市民活動センター	2016年5月15日
98	豊田祐輔	茨木の危機管理と防災	茨木シニアカレッジ「いこいこ未来塾」(茨木シニアカレッジ)、茨木市福祉文化会館	2016年6月10日
99	豊田祐輔	災害から命を守ろう	茨木市『まちづくり塾(小・中学生コース)』、立命館大学大阪いばらきキャンパス、茨木市、大阪	2016年7月24日～2016年7月30日
100	豊田祐輔	防災運動会	防災運動会;立命館大学大阪いばらきキャンパス;主催:茨木市商業団体連合会、立命館大学政策科学部豊田ゼミ、『商店街×大学生!炊き出し試食会～チャレンジ・災害発生時に私たちができること～』	2016年9月17日
101	豊田祐輔	新しいカタチの防災活動と活かし方	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻災害リスクマネジメント工学 (JR 西日本) 講座『第 11 回市民講座ー災害リスクを考えるー地震・津波災害に備える』、グランフロント大阪、大阪市、大阪	2016年10月1日
102	豊田祐輔	都市における災害:津波からの避難の課題	公共政策インゼミ合宿実行委員会(京都大学公共政策大学院・立命館大学大学院公務研究科)『公共政策インゼミ合宿 2016 (防災分科会)』、	2016年11月26日

			立命館大学朱雀キャンパス、京都市、京都	
103	豊田祐輔	事前復興と地図	大阪土地家屋調査士会三島支部『地籍シンポジウム～正確な地図をつくり、資産を守ろう！』茨木市福祉文化会館、茨木市、大阪	2016年12月3日
104	豊田祐輔	Gaming Simulation Workshop	“14th Collaborative Workshop on Policy Formation for Urban Development and Conservation of Historical and Cultural Areas in Osaka and Kyoto” the College of Policy Science of Ritsumeikan University and the Faculty of Architecture and Urban Planning of Thammasat University, Ritsumeikan University, in Osaka, Japan	2016年12月15日～2016年12月15日
105	豊田祐輔	大阪市における帰宅困難者支援(寺島和哉・立命館大学4年)	第1回リベラルアーツ・セミナー(名古屋外国語大学国際教養学科主催、名古屋外国語大学)	2016年12月22日～2016年12月22日
106	豊田祐輔	防災(災害)に強いまちづくり～住民によるボトムアップ～	『平成28年度 せつつ生涯学習大学院生涯学習リーダー養成講座①』摂津市	2017年1月26日～2017年1月26日
107	豊田祐輔	今後の災害と企業防災の現状	京都市ごみ減量推進会議『ゴミ減量実践講座 企業防災とごみ減量の意外な関係』京都私学会館、京都市	2017年2月3日～2017年2月3日
108	豊田祐輔	Community Planning for Disaster Mitigation in the Higher Risk Century	Center for Public Service, Portland State University “Community Disaster Resilience Speaker Series - Part 4” Market Center Building, Portland State University, Portland, Oregon, USA	2017年2月22日～2017年2月22日
109	豊田祐輔	Disaster Events for Promoting Multiple Participation	in Class of Sustainable Cities and Regions, of Toulon School of Urban Studies and Planning, Portland State University (Class for graduate students)” Portland State University, Portland, Oregon, USA	2017年2月22日～2017年2月22日
110	豊田祐輔	地域防災の現状と産・学の連携	中小企業サポート隊『中小企業サポート隊防災セミナー 災害から生活を守る 産・学の取り組み』阿倍野市民学習センター、大阪市	2017年2月25日～2017年2月25日
111	豊田祐輔	平成28年度 姫路市大学発まちづくり研究助成事業報告書『姫路城観光客の避難・帰宅支援へ向けた防災計画に関する研究』	平成28年度 姫路市大学発まちづくり研究助成事業	2017年2月～2017年2月
112	豊田祐輔	ニュースほっと関西(姫路城における大地震時の帰宅困難観光客支援に関するコメント)	『NHK』(近畿地方域内)	2017年3月8日～2017年3月8日
113	豊田祐輔	ニュース KOBE 発(姫路城における大地震時の帰宅困難観光客支援に関するコメント)	『NHK』(兵庫県内)	2017年3月8日～2017年3月8日
114	中谷友樹	基調講演 中谷友樹:健康な街と不健康な街:居住地域スケールの健康格差	京都大学財政学研究会シンポジウム「健康と主観的厚生の地域差—地域・まちづくりの展望—」,京都大学吉田キャンパス	2016年12月4日
115	石田優子	(委員)公益社団法人地盤工学会関西支部 斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価 研究委員会		2015年4月～2018年3月
116	石田優子	(委員)公益社団法人地盤工学会関西支部 関西の地盤情報に基づく防災ハザードマップ開発 研究委員会		2016年4月～2019年3月
117	崔明姫	Lecture: Economic Impacts of Earthquake Disaster, 13th Collaborative Workshop on Policy Formation for Urban Development and Conservation of Historical and Cultural Areas in Kyoto, the College of Policy Science of Ritsumeikan University and the Faculty of Architecture and Urban	立命館大学・大阪茨木キャンパス	2016年12月

		Planning of Thammasat University		
--	--	----------------------------------	--	--

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	鐘ヶ江秀彦	公益財団法人 科学技術融合振興財団 平成 27 年度 第 9 回 FOST 賞受賞	公益財団法人 科学技術融合振興財団 平成 27 年度 第 9 回 FOST 賞	ISAGA サマースクールを通じたゲーミング・シミュレーション開発スキルの学習方法に関する研究	2016 年 3 月
2	鐘ヶ江秀彦	国際シミュレーション&ゲーミング学会	第 47 回国際シミュレーション&ゲーミング学会世界年次大会 2016 最優秀論文賞	A Study on Gaming Simulation as a Key of Metaframe of Planning for Neighbourhood Immigrant Integration and Co-existing Diversity	2016 年 9 月
3	川崎佑磨	(社) 土木学会	吉田研究奨励賞		2016 年 6 月
4	川崎佑磨	(社) 日本非破壊検査協会	睦賞		2016 年 6 月
5	武田史朗		第 15 回読者と選ぶ「建築と社会」賞・作品部門		2016 年 6 月
6	武田史朗	一般社団法人ニューオフィス推進協会	日経ニューオフィス賞 関西ブロック賞		2016 年 8 月
7	武田史朗	大阪府	第 36 回大阪都市景観建築賞 審査員特別賞		2016 年 11 月
8	林倫子	公益社団法人土木学会土木史研究委員会	平成 28 年度土木学会土木史研究発表会優秀講演賞 (一般)	愛知川右岸谷底低地の微高地に存在した畑地区の形態と立地に関する一考察	2016 年 6 月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	金度源	社寺等地域遺産の震災被災者支援拠点としての活用実態と計画指針に関する研究	基盤研究(C)	2014 年 4 月	2017 年 3 月	分担
2	武田史朗	住宅地内における小規模民有広場の地域住民による自主管理及び運営モデルの構築	基盤研究(C)	2015 年 4 月	2017 年 3 月	代表
3	中谷友樹	多角的な地域特性からみた近隣健康格差とその動態解析	基盤研究(B)	2015 年 4 月	2019 年 3 月	代表
4	花岡和聖	人口縮小時代に対応した将来人口推計システム構築のための基礎研究	若手研究(B)	2015 年 4 月	2018 年 3 月	代表
5	藤本将光	豪雨時における斜面水文プロセスの把握に基づいた斜面表層崩壊の発生機構の解明	若手研究(B)	2015 年 4 月	2017 年 3 月	代表
6	矢野桂司	多様な主体による参加型 GIS の構築と応用に関する研究 (分担)	基盤研究(A)	2013 年 4 月	2017 年 3 月	分担
7	矢野桂司	GIS 活用による地域福祉アクターの情報共有化と多文化社会におけるネットワーク構築 (分担)	基盤研究(C)	2014 年 4 月	2017 年 3 月	分担
8	矢野桂司	人口減少期の都市地域における空き家問題の解決に向けた地理学的地域貢献研究 (分担)	基盤研究(B)	2015 年 4 月	2019 年 3 月	分担
9	矢野桂司	歴史 GIS によるデジタル・ヒューマニティーズの展開	基盤研究(A)	2016 年 4 月	2020 年 3 月	代表
10	矢野桂司	「地域の知」の共有と利活用を支援する地域研究情報基盤の構築 (分担)	基盤研究(A)	2016 年 4 月	2020 年 3 月	分担
11	矢野桂司	時空間情報の次世代分析ツールボックスの開発と応用 (分担)	基盤研究(A)	2016 年 4 月	2021 年 3 月	分担

12	石田優子	「道」という形態の世界遺産における斜面災害避災システムの構築	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	代表
----	------	--------------------------------	---------	---------	---------	----

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	土岐憲三	UNESCO Chair 「文化遺産と危機管理」国際研修の拡充と研修後のフォローアップ	トヨタ財団イニシアティブプログラム	2014年4月	2017年3月	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	大窪健之	消火用ノズル				特願 2016-058903		日本
2	大窪健之	消火用ノズル				特願 2016-206815		日本
3	深川良一	弾性体を利用した孔内 載荷試験装置					特許第 2571419 号	
4	藤本将光	土壌水量を用いた斜面 崩壊危険度の簡易判定 手法			2015- 102216			
5	藤本将光	透水試験装置および透 水試験方法			2013- 193946			